

航路諸元算定プログラム J-Fairway のダウンロードサイト運用開始



港湾研究部 港湾計画研究室 ^{室長}
(博士(工学)) 赤倉 康寛

(キーワード) 航路、幅、水深、J-Fairway

3.

成長力・国際競争力の強化

1. 航路諸元算定プログラム

2007年に改訂された「港湾の施設の技術上の基準・同解説」では、航路諸元の第2区分照査法が定められた。この方法は、対象船舶及び航行環境が特定できる場合に、船舶の性能等を出来る限り物理的に考慮する設計方法である。(社)日本航海学会及び国総研では、設計者の利便のため、設計法と同時に算定プログラムJ-Fairwayも開発した。

2. PIANC (国際航路協会) での検討

PIANCでは、WG49「Horizontal and vertical dimensions of fairways」において、2005年より航路諸元の算定方法について議論が重ねられてきた。その中で、日本の新たな設計法は高い評価を受け、

最終報告に掲載予定となっている。

3. サイト運用の開始

J-Fairwayの利用を希望する方々が容易に入手できるよう、PIANCよりダウンロードサイトの運用が求められた。そこで、管理調整部技術情報課の協力を得て、ダウンロードサイトを設置した。PIANC WG49の最終報告が未発表にもかかわらず、10月の運用開始から年内において、国内外より合計55回のダウンロードがなされた。航路諸元の検討をされる際には、積極的にご活用いただければ幸いである。

【参考文献】

<http://www.ysk.nilim.go.jp/kakubu/kouwan/keikaku/J-Fairway.htm>

